

# 県立の劇団SPAC(スパック)が、13年ぶりに沼津へ！

◎ 沼津市民文化センター開館40周年記念 ◎

## みつばち共和国

日時 2022年9月4日(日) 14:00開演 / 13:30開場 (上演時間:約60分)

会場 沼津市民文化センター 小ホール

ミツバチたちの不思議で神秘的な世界を覗き込むような舞台。

“面白くてためになる”SPACの人気のお芝居が、開館40周年記念として登場！

静岡県が設立した劇団、SPAC-静岡県舞台芸術センターは来たる9月、沼津市民文化センター開館40周年記念として、『みつばち共和国』を上演いたします。沼津では13年ぶりとなるSPAC公演。ミツバチの生態を忠実かつ神秘的に描写し、“大人も子どもも楽しめるお芝居”として再演を重ねる人気作を、市民に親しまれた同センターで気軽にご覧いただける機会となります。ぜひ多くの方にご鑑賞いただきたく、ご取材等ご検討いただければ幸いです。

### 作品について

木々がざわめき、鳥のさえずりが聞こえてくる。そこに置かれた巣箱の中では、ミツバチたちが暮らしている—。舞台上に登場するのは、女王バチに働きバチ、雄バチ、そしてハチたちを見守る巣箱保護員(養蜂家)。春・夏・秋・冬、自然はうつろい、それはこの先もずっと続いていくように見えるけれど…。

原作は、『青い鳥』で知られる作家メーテルリンクの代表作『蜜蜂の生活』、このエッセイが彼をノーベル文学賞受賞に導いたとも言われています。演出家のセリーヌ・シェフェールはこれを詩的なセリフとダンス、そして映像を用いて見事に舞台化し、2020年に日本語版としてSPACと創作、以来、毎年再演を重ねています。

劇中では、演出家が実際に巣箱で採音した羽音が使われ、何万匹ものミツバチが巣の中で一つの生命体のように連動する壮大で神秘的な世界が、リアル表現されています。おとぎ話のようでありながら、“花粉の運び屋”ミツバチの存在が今日、脅かされている現実にも触れており、生態系、人間社会の在り方にも多くの示唆を与える作品です。

(メーテルリンク作『蜜蜂の生活』に基づく)

作・演出:セリーヌ・シェフェール / 日本語台本:能祖將夫

出演:SPAC/たきいみき、永井健二、仲村悠希 [五十音順]

声の出演:木内琴子

●チケット料金 [全席指定・税込] **チケット好評販売中!**

一般:1,800円 / 高校生以下:900円 \*推奨年齢:7歳~ ※3歳未満入場不可

●チケット購入方法

沼津市民文化センターチケットコーナー TEL:055-933-2059

ローソンチケット(Lコード:42459) <https://l-tike.com/>

チケットぴあ(Pコード:212-794) <https://t.pia.jp/>

●お問い合わせ

沼津市民文化センター TEL:055-932-6111(静岡県沼津市御幸町15-1)

主催:(公財)沼津市振興公社 / 共催:沼津市教育委員会

製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター



写真:三浦興一

### SPAC(スパック)-静岡県舞台芸術センター

静岡県が設立した公立劇団。2022年に活動25周年を迎える。東静岡駅前のグランシップ内にある静岡芸術劇場と、日本平にある静岡県舞台芸術公園を拠点に、多彩な演劇・ダンス作品の創造・上演を行うほか、国際演劇祭「ふじのくににせかい演劇祭」の開催、海外公演、県内中高生を招いての招待公演や人材育成事業、県内各地でのアウトリーチなど様々な活動に取り組んでいる。

沼津市民文化センターでは、2009年にSPAC作品『走れメロス』(構成・演出:安田雅弘)を上演。

